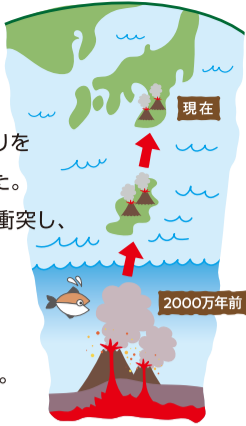


南の海からやってきた!

多くの旅人が訪れる伊豆半島。実はこの半島そのものも旅人なのです。南の海で誕生した海底火山は、噴火を繰り返しながら800kmを越える道のりを2000万年以上の年月をかけて旅してきました。約100万年前にはその行く手にあった本州と衝突し、現在の伊豆半島になりました。変化に富んだ地形や豊かな温泉、さまざまな文化といった伊豆の長い旅のお話を耳を傾けてみましょう。



伊豆半島の旅が教えてくれたこと

1 海底火山が何をしてくるか教えてくれる

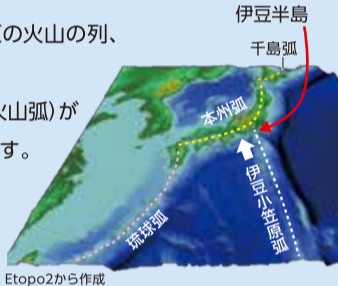
地球表面の70%を占める海。この広大な海の底をつくってきた海底火山を知ることは、地球全体の大地のなりたちや将来の姿を知ることにもつながります。伊豆には海底火山の地層が広く分布しています。本州との衝突による隆起によって、本来は目にすることが難しい海底火山の姿を目のあたりにすることができるようになりました。海岸などに美しく露出する海底火山のなごりは世界の海底火山研究をけん引してきた場所でもあるのです。



この地図の青色のところはかつて海底だった大地です

2 火山の列どうしが衝突し続ける場所の姿を見られる

伊豆半島から南に延びる伊豆-小笠原の火山の列、本州を形成する火山の列、活火山を多く含むこの2つの火山の列(火山弧)がぶつかっているその場所が伊豆なのです。現在も続く衝突は伊豆半島の中にさまざまな地形を形作ってきました。



Etopo2から作成

伊豆の旅をもっと楽しく! もっと詳しく!

●無料で配布『伊豆ジオMAP』

観光施設などで配布しています。本ドライブマップと一緒に見ると分かりやすいです。



●ジオサイトにある『解説看板』

各ジオサイトには土地の成り立ちを詳しく解説する茶色い看板があります。ぜひチェックしてみてください!



●『自転車』でジオサイトめぐり

伊豆各地にはレンタサイクル店があり、手軽に自転車の旅を楽しむことができます。 <https://izugeopark.org/enjoy/cycling/>



●『伊豆半島ジオパーク認定ガイド』

見過ごしてしまうようなありふれた景色に、なぜその景色になったかという背景があることを、分かりやすく案内してくれます。 <ご依頼・お問い合わせ先> 伊豆半島ジオガイド協会 Tel/Fax 0558-74-5423 <http://www.izugeoguide.org/>



●伊豆半島ジオパークミュージアム ジオリア

伊豆市修善寺838-1 (修善寺総合会館内) Tel.0558-72-0525 開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで) 休館日 水曜日 (祝日の場合は翌平日) 入場無料 <https://georia.izugeopark.org/>



地域のジオパーク案内

- 長泉ビジターセンター (コミュニティながいずみ2F) Tel.055-988-8780
- 沼津ビジターセンター (道の駅くるら戸内) Tel.0558-94-5151
- 伊豆の国ビジターセンター (道の駅伊豆のへそ内) Tel.0558-76-1630
- ジオポート伊東 Tel.0557-37-1125
- 三島ビジターセンター (三島観光案内所) Tel.055-946-6900
- 熱海ビジターセンター (熱海観光案内所内) Tel.0557-85-2222
- 函南ビジターセンター (道の駅伊豆ゲートウェイ函南内) Tel.055-979-1112

マップ面に場所掲載? はジオパーク案内可能スタッフ常駐施設

地域の観光案内

- 三島市観光協会 Tel.055-971-5000
- 伊東観光協会 Tel.0557-37-6105
- 伊豆市観光案内所 Tel.0558-99-9501
- 沼津観光協会 Tel.055-964-1300
- 函南町観光協会 Tel.055-978-9191
- ながいずみ観光交流協会 Tel.055-988-8780
- 熱海市観光協会 Tel.0557-85-2222
- 伊豆の国市観光協会 Tel.055-948-0304
- 清水町役場産業観光課 Tel.055-981-8239

発行元/伊豆半島ジオパーク推進協議会 Tel.0558-72-0520 伊豆市修善寺838-1 (修善寺総合会館内) <https://izugeopark.org/> 2019年2月発行

北 伊豆半島 ドライブ マップ



ジオ マップ

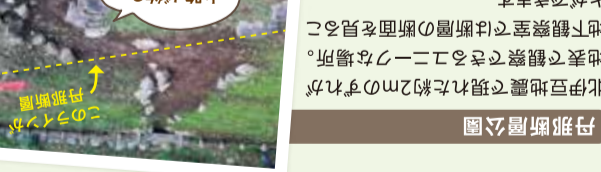


だるま山高原スリハイクスからの眺望。大地の様子を一望できます。

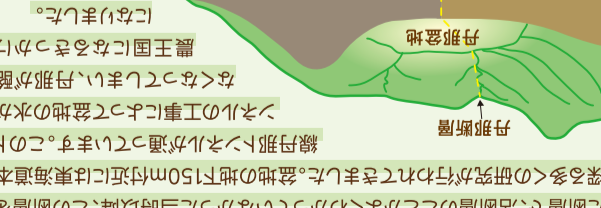
大地を一望できる 達磨山



乳製品の手作り体験を実施しています。



水路が約2mずれている!



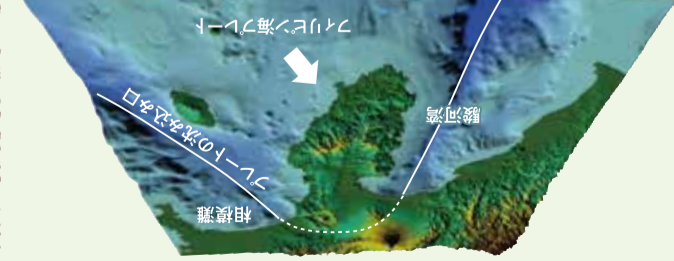
大地の おしあひしあい 丹那断層



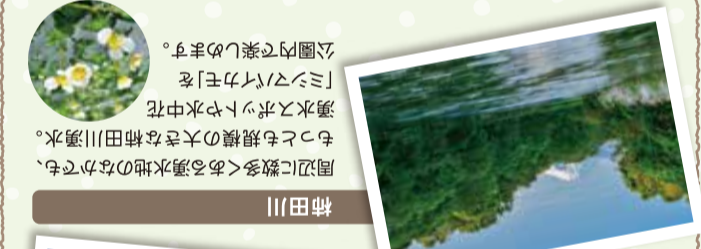
世界最大のカニ 駿河湾深海生物館



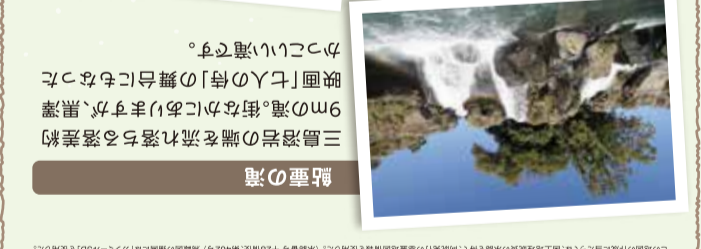
深海魚の町「戸田」



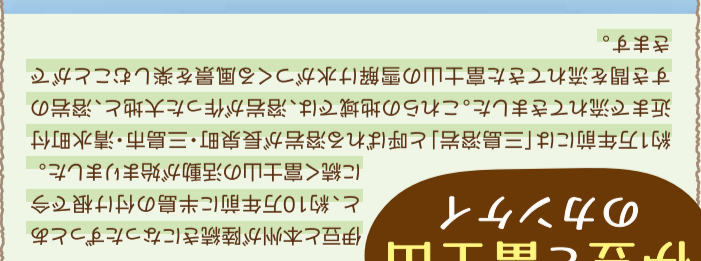
日本一深い湾 駿河湾



楽寿園



船重の滝



伊豆と富士山 のカスケイ

伊豆と本州が陸続きになったことと、約10万年前に半島の付け根で今に続く富士山の活動が始まりました。約1万年前には「三島溶岩」と呼ばれる溶岩が長泉町・三島市・清水町付近まで流れてきました。これらの地域では、溶岩が作った大地と、溶岩のすき間を流れてきた富士山の雪解け水が、つくる風景を楽しむことができます。

伊豆-富士山-駿河湾